

科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	英語コミュニケーション					学期	曜日	校時
英語名	English Communication							
担当 教官名	築取 和紘	単位数	1 単位	必修 選択	必修	後期	月曜日	校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>この授業は英語のリスニング能力を伸ばすことをねらいとしています。英語でコミュニケーションするには、自分が話す前に、まず相手の言っていることが理解できなくてはなりません。話すことは自分の知っている単語や構文を使えば何とかできますが、聴くことは自分の知らない表現を文脈から推測したり、相手の話す速度に合わせて理解していくことが必要です。聴くことは決して受動的な活動ではなく、むしろ能動的な学習なのです。授業では、テープ音声の聞き取りだけでなく、話者の意図を含めた内容理解への方略を身につける練習を重ねていきます。</p>								
テキスト、教材等								
Samuela Eckstut、青木雅幸（著） <i>Communication in the Real World</i> 『TOEIC テストに役立つ日常英語』（成美堂、2003 年） 1900 円								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
2 T f	成績は	学期末試験 : 65% 授業中の発表 : 25% 出席状況 : 10%			で出します。			
授業計画								
<p>最も大切な学習活動は授業でテープの英語を聞き取ることです。しかし、その前に教科書に目を通しておくことを求めます。何を学ぶかを頭に入れておくことは、学習能率を高めるのに役立つでしょう。</p> <p>授業で学習したことは学期末に試験し、100 点満点の点数を 65 点満点に換算します。</p> <p>また授業中の学習態度も評価します。学生が自分の答えや考えを発表した場合は、その回数によって加点しますが、何も発表しない場合は 0 点です。さらに出席状況も成績に反映し、出席の回数に応じて点数を与えます。</p> <p>20 分までの遅刻は出席と認めますが、それ以上になると欠席扱いとするので、注意してください。但し、欠席が 5 回になると、理由の如何を問わず、学期末試験を受ける資格を失います。</p> <p>10 月最初の授業で教科書を販売し、授業の進め方や評価法について詳しく説明します。受講生は全員必ず出席してください。</p> <p>なお、再履修を希望する学生は、1 回目の授業でのみ受け付けます。</p>								
【授業】 <ol style="list-style-type: none"> 1 . (10/06) : 教科書の販売、授業の進め方や評価法に関する説明、授業資料の配付など。 2 . (10/20) : Unit 1 Introducing Yourself 3 . (10/27) : Unit 2 Telephoning 4 . (11/10) : Unit 3 Money 5 . (11/17) : Unit 4 Leaving a Message 6 . (12/01) : Unit 5 Talking About Where Things Are 7 . (12/08) : Unit 6 Going Places 8 . (12/15) : Unit 7 In the News 9 . (12/22) : Unit 8 Talking About People 10 . (01/19) : Unit 9 Finding a Place To Live 11 . (01/26) : Unit 10 Having a Good Time 12 . (02/02) : Unit 11 Getting Around <p>【前期試験】 2月9日</p>								